【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公表番号】特表2006-521378(P2006-521378A)
【公表日】平成18年9月21日(2006.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2006-037
【出願番号】特願2006-508789(P2006-508789)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/405　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/337　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/24　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　33/06　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 209/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/06
Ａ６１Ｋ　31/405
Ａ６１Ｋ　31/337
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｐ　43/00　１０５
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　31/14
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｐ　33/06
Ｃ０７Ｄ 209/20

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月20日(2007.2.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
癌治療用薬学的組成物であって、
少なくとも１つのインドールアミン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＩＤＯ）阻害剤と、
少なくとも１つの情報伝達阻害剤（ＳＴＩ）と
を薬学的に許容される担体媒介物中に有するものである、癌治療用薬学的組成物。

【請求項２】
請求項１記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＳＴＩは、ｂｃｒ／ａｂｌキナーゼ阻害剤、上皮細胞増殖因子（ＥＧＦ）レセプター阻害剤、ｈｅｒ－２／ｎｅｕレセプター阻害剤、ファルネシルトランスフェラーゼ阻害剤（ＦＴＩｓ）、Ａｋｔファミリーキナーゼおよびａｋｔ経路の阻害剤、及び細胞周期キナーゼ阻害剤から成る群から選択されるものである。
【請求項３】
請求項１記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＳＴＩは、ＳＴＩ５７１、ＳＳＩ－７７４、Ｃ２２５、ＡＢＸ－ＥＧＦ、ハーセプチン、Ｌ－７４４，８３２、ラパマイシン、ＬＹ２９４００２、フラボピリダル、及びＵＮＣ－０１から成る群から選択されるものである。
【請求項４】
請求項３記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＳＴＩは、Ｌ－７４４，８３２である。
【請求項５】
請求項１記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＩＤＯ阻害剤は、１－メチル－ＤＬ－トリプトファン（１ＭＴ）、β－（３－ベンゾフラニル）－ＤＬ－アラニン、ベーター（３－ベンゾ（ｂ）チエニル）－ＤＬ－アラニン、６－ニトロ－Ｌ－トリプトファン、インドール　３－カルビノール、３，３’－ジインドリルメタン、ブラシニン、３，３’－ジインドリルメタン、インドール－３－カルビノール、５－メチル－ブラシニン、エピガロカテキンガレート、５－Ｂｒ－４－Ｃｌ－インドキシル　１，３－ジアセテート、９－ビニルカルバゾール、アセメタシン、５－ブロモ－ＤＬ－トリプトファン、５－ブロモインドキシルジアセテート、フェニル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、プロペニル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、メチル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、ブラシレキシン、３－アミノ－２－ナフトエ酸、β－カルボリン、３－ブチル－β－カルボリン、６－フルオロ－３－カルボメトキシ－β－カルボリン、６－イソチオシアネート－３－カルボメトキシ－β－カルボリン、３－プロポキシ－β－カルボリン、３－カルボキシ－β－カルボリン、３－カルボプロポキシ－β－カルボリン、及び３－カルボ－第三－ブトキシ－β－カルボリンから成る群から選択されるものである。
【請求項６】
請求項１記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＩＤＯ阻害剤は１－メチル－トリプトファン（１ＭＴ）である。
【請求項７】
慢性ウイルス感染治療用薬学的組成物であって、
少なくとも１つのインドールアミン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＩＤＯ）阻害剤の有効量と、
少なくとも１つの化学療法薬と、
薬学的に許容される担体媒介物と
を有する慢性ウイルス感染治療用薬学的組成物。
【請求項８】
請求項７記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＩＯＤ阻害剤は、１－メチル－ＤＬ－トリプトファン（１ＭＴ）、β－（３－ベンゾフラニル）－ＤＬ－アラニン、ベーター（３－ベンゾ（ｂ）チエニル）－ＤＬ－アラニン、６－ニトロ－Ｌ－トリプトファン、インドール　３－カルビノール、３，３’－ジインドリルメタン、ブラシニン、３、３’－ジインドールメタン、インドール－３－カルビノール、５－メチル－ブラシニン、エピガロカテチンガレート、５－Ｂｒ－４－Ｃｌ－インドキシル　１，３－ジアセテート、９－ビニルカーバゾール、アセメタシン、５－ブロモ－ＤＬ－トリプトファン、５－ブロモインドキシルジアセテート、フェニル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、プロペニル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、メチル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、ブラシレキシン、３－アミノ－２－ナフトエ酸、β－カルボリン、３－ブチル－β－カルボリン、６－フルオロ－３－カルボメト

キシ－β－カルボリン、６－イソチオシアネート－３－カルボメトキシ－β－カルボリン、３－プロポキシ－β－カルボリン、３－カルボキシ－β－カルボリン、３－カルボプロポキシ－β－カルボリン、及び３－カルボ－第三－ブトキシ－β－カルボリンから成る群から選択されるものである。

【請求項９】

請求項８記載の薬学的組成物において、前記少なくとも一つのＩＤＯ阻害剤は１－メチル－トリプトファン（１ＭＴ）である。

【請求項１０】

請求項７記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つの化学療法薬は、パクリタキセル（Ｔａｘｏｌ（登録商標））、シスプラチン、ドセタキセル、カルボプラチン、ビンクリスチン、ビンブラスチン、メトトレキサート、シクロホスファミド、ＣＰＴ－１１、５－フルオロウラシル（５－ＦＵ）、ゲムシタビン、エストラムスチン、カルムスチン、アドリアマイシン（ドキソルビシン）、エトポシド、三酸化亜ヒ酸、イリノテカン、およびエポチロン誘導体から成る群から選択されるものである。

【請求項１１】

癌治療用薬学的組成物であって、

少なくとも１つのインドールアミン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＩＯＤ）阻害剤の有効量と、

薬学的許容可能な担体と

を有する癌治療用薬学的組成物であり、

前記ＩＤＯ阻害剤は、フェニル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ（３－（Ｎ－フェニル－チオヒダントイン）－インドール）、プロペニル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ（３－（Ｎ－アリル－チオヒダントイン）－インドール）、及びメチル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ（３－（Ｎ－メチル－チオヒダントイン）－インドール）から成る群から選択されるものである、癌治療用薬学的組成物。

【請求項１２】

癌治療用薬学的組成物であって、

少なくとも１つのインドールアミン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＩＤＯ）阻害剤の有効量と、

少なくとも１つの化学療法薬と

を薬学的に許容される担体媒体中に有するものである、癌治療用薬学的組成物。

【請求項１３】

請求項１２記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つの化学療法薬は、パクリタキセル（Ｔａｘｏｌ（登録商標））、シスプラチン、ドセタキセル、カルボプラチン、ビンクリスチン、ビンブラスチン、メトトレキサート、シクロホスファミド、ＣＰＴ－１１、５－フルオロウラシル（５－ＦＵ）、ゲムシタビン、エストラムスチン、カルムスチン、アドリアマイシン（ドキソルビシン）、エトポシド、三酸化亜ヒ酸、イリノテカン、およびエポチロン誘導体から成る群から選択されるものである。

【請求項１４】

請求項１３記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つの化学療法薬はパクリタキセルである。

【請求項１５】

請求項１２記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＩＯＤ阻害剤は、１－メチル－ＤＬ－トリプトファン（１ＭＴ）、β－（３－ベンゾフラニル）－ＤＬ－アラニン、ベーター（３－ベンゾ（ｂ）チエニル）－ＤＬ－アラニン、６－ニトロ－Ｌ－トリプトファン、インドール　３－カルビノール、３，３’－ジインドールメタン、ブラシニン、３，３’－ジインドリルメタン、インドール－３－カルビノール、５－メチル－ブラシニン、エピガロカテチンガレート、５－Ｂｒ－４－Ｃｌ－インドキシル　１，３－ジアセテート、９－ビニルカルバゾール、アセメタシン、５－ブロモ－ＤＬ－トリプトファン、５－ブロモインドキシルジアセテート、フェニル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、プロペニル－Ｔ

Ｈ－ＤＬ－ｔｒｐ、メチル－ＴＨ－ＤＬ－ｔｒｐ、ブラシレキシン、３－アミノ－２－ナフトエ酸、β－カルボリン、３－ブチル－β－カルボリン、６－フルオロ－３－カルボメトキシ－β－カルボリン、６－イソチオシアン－３－カルボメトキシ－β－カルボリン、３－プロポキシ－β－カルボリン、３－カルボキシ－β－カルボリン、３－カルボプロポキシ－β－カルボリン、及び３－カルボ－第三－ブトキシ－β－カルボリンから成る群から選択されるものである。

【請求項１６】

請求項１５記載の薬学的組成物において、前記少なくとも１つのＩＤＯ阻害剤は１－メチル－トリプトファン（１ＭＴ）である。

【請求項１７】

請求項７記載の薬学的組成物において、この組成物は、さらに、

アシクロビル、ガングシクロビル、ホスカネット、リバビリン、ヌクレオシド類似体逆転写酵素阻害剤、非ヌクレオシド逆転写酵素阻害剤、及びプロテアーゼ阻害剤から成る群から選択される抗ウイルス物質を含むものである。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

異常な情報伝達により、悪性形質転換、増長そして進行を引起すことがある。その結果、情報伝達経路の阻害剤が、癌治療に使われているのである。過去数年にわたり、多くの情報伝達阻害剤（ＳＴＩｓ）が開発されている。腫瘍の成長を抑制するその能力については、現在調査中である。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては次のものがある。

【特許文献１】米国特許第６，４８２，４１６号明細書

【特許文献２】ローレンス　Ｌ．ブルトン（Ｌａｕｒｅｎｃｅ　Ｌ．Ｂｒｕｎｔｏｎ）ら著、「グッドマン及びグリマンによる治療法の薬理学的基準（ＧＯＯＤＭＡＮ　ＡＮＤ　ＧＬＩＭＡＮ’Ｓ　ＴＨＥ　ＰＨＡＲＭＡＣＯＬＯＧＩＣＡＬ　ＢＡＳＩＳ　ＯＦ　ＴＨＥＲＡＰＥＵＴＩＣＳ）」，（米国），第９版，マグロウ－ヒル　カンパニー．インク（Ｔｈｅ　ＭｃＧｒａｗ－Ｈｉｌｌ　Ｃｏｍｐａｎｉｅｓ．Ｉｎｃ．），１９９６年，ｐ．１２９５－１２９６